

つくば市令和8年（2026年）8月定例記者会見 資料一覧

令和8年（2026年）8月7日（金）
つくば市 市長公室 広報戦略課

- 1 つくば市市制施行40周年記念ロゴマークの募集について
- 2 まつりつくば2026の開催について
- 3 つくば市認知症オレンジスマイルフェアの開催について
- 4 第2回広報つくば絵画コンテストの実施について
- 5 つくば市国土強靱化地域計画〔改定版〕（案）について
- 6 つくばスーパーサイエンスシティファンドの創設及び筑波大学との連携協定の
締結について
- 7 つくば市イベント情報（2026年8月、9月）等

世界のあしたが見えるまち。

事 案 名	つくば市市制施行40周年記念ロゴマークの募集について
1 趣旨・目的	つくば市は、令和 9 年11月30日に市制施行40周年を迎えます。それに伴い、令和 9 年度には、様々な市制施行40周年記念事業（以下「記念事業」という。）を実施する予定です。 この節目の年を、つくば市に関わる全ての方と祝い盛り上げ、記念事業及び当市の魅力を市内外に広く発信するため、市制施行40周年のシンボルとなる「ロゴマーク」のデザインを募集します。
2 応募期間	令和 8 年 8 月 1 日（土）～10月 2 日（金）
3 対象者	つくば市内在住・在勤・在学の方、または、市につながり・ゆかりがある方
4 内容	■応募要件 【制作方法】 ・手描き、デジタルどちらでも可（生成AIの制作は不可） 【デザイン】 ・つくば市の魅力を感じさせるデザインとすること ・幅広い世代に親しまれるデザインとすること ・「40」の文字を使用すること ■提出方法（以下のいずれか） いばらき電子申請・届出サービス、郵送、企画経営課に直接提出 ■選考方法 市長、副市長、教育長等で審査を実施し、応募作品の中から採用候補作品を 5 点程度に絞り込み、その後、一般投票（インターネット投票）により、最優秀賞 1 点と優秀賞 2 点を選考する予定です。 ■作品の取り扱い 最優秀賞の作品は、市の広報活動や団体・事業者が実施する記念事業（イベント等）で使用する予定です。
5 結果公表	市ホームページ等で令和 8 年12月頃に発表する予定です（受賞者には事前に通知予定）。

6 その他	■市制施行40周年記念事業について ・実施期間：令和9年4月1日～令和10年3月31日 ・「過去を知る」「現在（いま）を知る・伝える」「未来を描く」の事業コンセプトのもと、市や団体・事業者等が実施するイベントなど、様々な記念事業を実施する予定です。 ・令和8年12月頃に市ホームページに、「市制施行40周年特設ページ」を開設し、ロゴマークの選考結果をはじめ、記念事業の情報や市のあゆみをまとめたコンテンツなどを順次掲載していく予定です。
資 料 等	つくば市市制施行40周年ロゴマーク募集チラシ

事 案 名	まつりつくば2026の開催について
1 趣旨・目的	つくば市は、筑波山をはじめとする美しい自然や周辺地域の豊かな歴史と文化、世界最先端の科学技術が集積した、自然と科学が調和する魅力あるまちです。まつりつくばは、こうした魅力を市民や来訪者に発信して魅力度向上を図るとともに、市民が参加できるイベントを開催して地域交流や世代間交流を促進することで、地域経済の活性化を図ることを目的として開催しており、今回で第43回目の開催となります。
2 日時	令和8年8月22日（土）12:00～21:00 8月23日（日）12:00～21:00
3 場所	つくば駅周辺 （つくばセンター広場、大清水公園、中央公園、つくば公園通り、竹園公園、コリドイオ、トナリエつくばスクエア、土浦学園線）
4 内容	土浦学園線で行われる神輿やねぶたなどによるまつり大パレードや市内のグルメが勢ぞろいする一店逸品ひろば、大道芸人によるパフォーマンスが見られるアートタウンつくばなど
5 対象者等)	まつりつくば2024来場者数 48万人 まつりつくば2025来場者数 48万人
6 主催等	主催：まつりつくば大会本部・つくば市 公式HP： https://matsuri-tsukuba.com/
7 特記事項	【うきうき広場】 今年は、うきうき広場の運営主体がトナリエつくばスクエア様からIKINA MARKET様に変更となり、「つくば蚤の市」がうきうき広場で開催されます。



	【暑さ対策】 ・暑さ対策として、会場内の計6か所に簡易クーラー又はミストシャワー等を設けた涼み所テントを設置 ・来年のまつりつくば2027は、令和9年（2027年）9月25日（土）、26日（日）に開催予定 【ポスターデザイン制作】 昨年に引き続き、（株）Z0Z0様にデザイン制作を依頼し、ポスター、パンフレット、HP等に活用しています。今年は計画段階から（株）Z0Z0に携わっていただき、一貫性のあるブランドデザインを構築するための御協力をいただきました。 【ごみ持ち帰りの啓発】 昨年に引き続き、つくば市脱炭素先行地域での「ごみZERO」を目指します。出店者にごみ削減に向けた協力を依頼しているほか、今年もごみ持ち帰りスタイル「もってかえる。」をテーマとして、製作したごみ持ち帰り用袋を会場内で配布します。 【まつり後のごみ拾いボランティアの募集】 まつり終了後の翌朝に会場周辺のゴミを拾う清掃ボランティアを募集します。 募集方法：まつりつくば公式ホームページ、SNS 募集期間：令和8年8月1日（土）から募集しています 【来場者アンケートの実施】 「つくスマ」を用いた来場者アンケートを実施します。 ・「つくスマ」アプリをダウンロードし、来場後にアプリから回答 ・回答者に特典提供予定
資 料 等	まつりつくば2026パンフレット

事 案 名	つくば市認知症オレンジスマイルフェアの開催について
1 趣旨・目的	認知症啓発月間である 9 月に合わせて、認知症に関する理解促進と啓発を目的としたイベント「つくば市認知症オレンジスマイルフェア」を開催します。今回は第 2 回として、認知症の「早期発見や気づき」をテーマとしています。 このイベントは、茨城県、茨城県警察本部、認知症関連事業等に関わる認知症サポーター・キャラバンメイト、大学、企業、医療機関等と連携して実施します。
2 日時	令和 8 年 9 月 12 日（土）10:30～15:00
3 場所	イオンモールつくば（つくば市稲岡 66-1） 1 階センターコート ウェストコート 3 階イオンホール
4 対象者等	来場者想定数 300 人
5 内容	動画を用いた認知症の対応、高齢者講習・認知機能検査と地域の移動支援に関する講座、認知症ボードゲーム「支えあい island ツアー」の体験（事前申込優先）、コーヒーを楽しみながら脳の健康チェック、認知症 VR 体験、オリジナル缶バッジ作成、介護食・認知症関連図書の紹介、市の認知症事業、地域包括支援センターの案内等
6 主催等	主催：つくば市 協力：茨城県、茨城県警察本部、イオンモール(株)イオンモールつくば、イオンリテール(株)、エーザイ(株)、大塚製薬(株)、スターバックス コーヒー イオンモールつくば店、筑波大学看護学類、筑波大学附属病院、とよさと病院、(公社)認知症の人と家族の会茨城県支部、ブレインサイド(株)、未来屋書店つくば店、森永乳業クリニコ(株)(敬称略・順不同)

7 特記事項	今年のテーマに合わせ、茨城県警察本部の協力を得て、認知機能検査と運転免許の関係についての講座を実施します。また、大学生が考案した、認知症ボードゲーム「支えあいislandツアー」の体験コーナーを設けます。
資 料 等	つくば市認知症オレンジスマイルフェアチラシ

事 案 名	第 2 回広報つくば絵画コンテストの実施について
1 趣旨・目的	市民とともに作り上げ、広報紙に親しみを持っていただくため、市民参加型の企画として「思い出のつくば」をテーマに「広報つくば」12月号の表紙を飾る絵を募集します。
2 応募期間	令和 8 年 8 月 3 日（月）～10月 2 日（金）
3 対象者	つくば市内在住・在学・在勤の方、または、市にゆかりのある方
4 内容	■テーマ 思い出のつくば ■作品サイズ A4～A3までの大きさ、画用紙8つ切り、24cm×24cm ※作品はデジタル・アナログどちらでも可能です。 ■提出方法（以下のいずれか） いばらき電子申請・届出サービス、広報戦略課に直接提出、郵送 ■作品の取り扱い 最優秀賞（1点）、優秀賞（2点）、佳作（5点）を決定した上で、最優秀賞の作品は「広報つくば12月号」の表紙に掲載します。なお、全ての応募作品を市ホームページや市役所 1 階の市政情報コーナー等で紹介する予定です。
5 結果公表	市ホームページ等で11月27日（広報つくば12月号配布開始日）以降に発表します。※受賞者には事前に通知予定
6 主催等	つくば市
資 料 等	第 2 回広報つくば絵画コンテストチラシ

事 案 名	つくば市国土強靱化地域計画〔改定版〕（案）について
1 趣旨・目的	国の国土強靱化基本計画及び県の国土強靱化地域計画に基づき、大規模自然災害等から市民の生命と財産を守り、事前の防災・減災と迅速な復旧・復興に資する施策を総合的かつ計画的に実施することを目的とした「つくば市国土強靱化地域計画」を改定することに伴い、市民の意見を反映させるため、パブリックコメントを実施します。
2 経過	(1) 全部署を対象に、脆弱性の分析、施策の推進方策、該当する事業の洗い出しについての調査を実施（令和8年3月） (2) 計画素案を作成し、事業の漏れや内容の確認についての調査を実施（令和8年5月）
3 計画の構成	本計画は国の基本計画及び県の地域計画を参考に、6つの「事前に備えるべき目標」と30の「起きてはならない最悪の事態」が設定されており、それぞれの脆弱性の分析とリスクへの対応方策で構成されています。
4 事前に備えるべき目標	(1) あらゆる自然災害に対し、直接死を最大限防ぐ (2) 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保することにより、関連死を最大限防ぐ (3) 必要不可欠な行政機能は確保する (4) 経済活動を機能不全に陥らせない (5) 情報通信サービス、電力等ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる (6) 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する
5 前回からの変更点	「事前に備えるべき目標」と「起きてはならない最悪の事態」の設定を先に改定された国の基本計画、県の地域計画と調和する内容に変更しています。
6 今後の予定	(1) パブリックコメント 令和8年8月1日～8月27日 (2) 公表 令和8年10月頃予定

資 料 等	つくば市国土強靱化地域計画〔改定版〕（案） つくば市国土強靱化地域計画〔改定版〕（案）概要版
-------	---

世界のあしたが見えるまち。

事 案 名	つくばスーパーサイエンスシティファンドの創設及び筑波大学との連携協定の締結について
1 趣旨・目的	つくばスーパーサイエンスシティ構想の取組を継続的に進めるため、企業版ふるさと納税を活用した新たな寄附の仕組みを設けます。 市は、寄附金を地域課題の解決や先端技術の社会実装に活用するとともに、寄附額の一部を大学・研究機関が行う地方創生に資する取組へ補助金として交付します。 今回、筑波大学が連携機関の第一号に決定し、本事業に関する連携協定を締結しました。筑波大学は、市と連携して企業へ寄附の募集を行います。
2 ファンド創設日 及び協定締結日	令和 8 年 8 月 6 日（木）
3 内容	企業からいただいた寄附金のうち 6 割相当を、つくばスーパーサイエンスシティ構想に関する市の事業に活用します。残りの 4 割相当は、協定を締結した大学・研究機関から事業の提案を受け、市が地方創生への効果などを審査した上で、補助金として交付します。 ※大学・研究機関へ自動的に 4 割を配分する仕組みではありません。
4 対象者等	・市外に本社がある企業等：寄附者 ・つくば市：寄附受入者、寄附募集者 ・大学・研究機関：補助金交付対象者、寄附募集者
5 特記事項	企業に対し、市と大学・研究機関が連携して寄附の募集を行い、企業から市に寄附された金額の 4 割相当を、企業から指定された大学・研究機関に市から補助金として交付する仕組みが、本ファンドの特徴です。 通常、企業が筑波大学へ直接寄附する場合も、寄附額の全額を損金に算入できます。この場合、企業の税負担が軽減される効果は、一般的に寄附額の約 3 割が目安です。しかし、企業版ふるさと納税

	では、この損金算入による税負担軽減効果に法人関係税の税額控除が加わるため、企業の税負担は合計で最大約9割軽減されます。 これにより、企業は負担を抑えながら、つくば市の地方創生や大学・研究機関との社会実装の取組を応援できます。
資 料 等	つくばスーパーサイエンスシティファンドについて